

とぶきだい

公民館報

優しく思いやり 明るく楽しい町 寿台

平成27年9月1日現在の寿台
 総世帯数 1,496世帯
 総人口 3,232人
 男 1,544人
 女 1,688人

松本市寿台公民館
 〒399-0021
 松本市寿豊丘649-1
 TEL. (0263)58-6561
 FAX. (0263)86-7964

第42回寿台夏祭り

第42回寿台夏祭りを振り返って

祭典委員長 平林章明

まず初めに、今年で42回を迎える寿台夏祭りが、晴天の中で皆様方のご協力により無事に終了したことを、祭典部及び祭典専門部を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

昨年までは、祭典専門部として裏方に徹していましたが、今回は祭典委員長としてまとめ役となり、役目の大変さ、皆さんの目の厳しさを実感しました。皆に納得して動いてもらうことの難しいこと、歴代の祭典委員長の苦労が身に染みました。夏祭りと言えば、水御輿。

その作成に当たっては二丁目と九丁目さんにご苦勞願いました。夏祭りの前日に水御輿に魂入れを行いました。皆様ご存知の通り寿台には神社もありません。魂入れとはおかしいのではと言うご意見もあります。こ



天高く宙を舞う、水御輿



夏祭りの前日に、お祭りの安全を祈願しました。

れはあくまでお祭りが安全に終了するように、皆の気持ちを込める、魂を込めるという意味で、神様ではなく、住民の魂を水御輿に入れ込むという事だと思えます。

少子高齢化が進み、子どももこし、大人水御輿に参加出来ない町会が出てきているのが現実です。

しかし、水御輿を楽しみにしている人々もいますし、暑い中、子どもたちや観客も交えて水をかけ合い大騒ぎをする機会がなくなるのは寂しいことです。

水御輿のある夏祭りは、皆で楽しんで親睦を深めたり、子どもたちには夏休みの思い出や、夏祭りがある地元に対する愛着など、松本市が進める地域づくりの姿が、すでにそこにあると思います。

変化していく地区の状況に合わせて、形をかえつつ、時代にあった夏祭りにしていくために、皆様方のご協力と運営のアイデアをお願い致します。最後に、来年もお祭り広場でお会いしましょう！

子どもみこし

寿台夏祭りの水御輿に先駆けて、子どもみこしが町内を練り歩きました。少子化により一丁目が子どもみこしを担げなくなりましたが、二丁目の子どもみこしに参加し、一日楽しみました。



三丁目



二丁目



八丁目



九丁目



東町会



四丁目



五丁目



夏休みの風物詩 ラジオ体操



四丁目



東町会

他校に通っている児童や、1人になってしまった1丁目の児童も参加し、高齢者の方々と一緒に、元気にラジオ体操をしています。



二丁目



九丁目

夏休みの思い出

小学校の頃の夏休みと言え、ラジオ体操が思い出されます。「新しい朝が来た」と歌いながら集合し、皆でラジオ体操。また、終了後に高学年のお兄ちゃんやお姉ちゃんから体操のカードにハンコを押してもらおうのも楽しみのひとつでした。そして最大の楽しみは、そこで会った友達と、「今日は何して遊ぼうか」と話すことでした。
今の子どもたちも、早起きして体を動かし、勉強や遊びに、大いに夏休みを楽しんだことでしょう。

高齢者クラブの輝き

第二章



寿台八丁目「笑寿会」

会長 池田 健一

寿台八丁目は寿台でも上の部分にあります。寿台東公園も近くにあり、4月になると桜の花が春爛漫とばかりにそれは見事なものです。さて、笑寿会は寿台の高齢者クラブの中では会員が10名と少ないのですが、多方面に渡って活動しています。まず、双葉会の事業として体育館や、ふれあいセンターの清掃。体育館花壇の花植え、年一回の親睦旅行などへ参加しています。また、八丁目の町内公民館や育成会などに協力して、豆まき交流会やラジオ体操などにも参加しています。笑寿会独自の活動としては、お茶会や脳トレゲーム大会。特に認知症にならないように集まって会話するようにしています。



しかし未だ少人数ですので会員増加に努力し活動を盛んにしなければなりません。

寿台東町会「東寿会」

会長 赤羽 禎夫

「東寿会」とは、寿台六・七丁目に居住する60歳以上の有志で組織された高齢者クラブのこと。現在の会員数は62名で、男女ほぼ同数。年間通しての主な活動は、年数回の寿台体育館とふれあいセンターの清掃活動とその後に開かれるお茶会。せっかくみんなが顔を合わせる大事な機会なので、お茶を飲みながら近況を話し合っている。キーボードに合わせての歌や体育館での踊り、軽スポーツ、それに新年会など、みんなが仲良く元気になれる企画を実施している。秋のふれあい一泊旅行も大きな楽しみのひとつ。これまでは伊那路、大町温泉郷など、さて今年はどこへ・目下みんなの知恵を集めているところ。高齢者施設の見学や会員の友愛訪問も行い、さらには出張サロン事業に協力して会員以外の人たちとの交流も深めて行きたい。

